

緊急人道支援講座FAQ

● この講座は、緊急人道支援の初修者を対象としているのか。

そうです。緊急人道支援に関心があり、将来、この世界で仕事をしていきたいと考えている方を対象としています。実際には、すでに緊急人道支援の仕事に就かれており、人道支援を体系的に理解したい、新たな知見を得たいといった方々も多く受講されています。その場合でも、講座は初修者を対象としていることを理解して参加頂いております。

● 春と秋のどちらかのみを受講しても良いか。

はい。春講座は緊急人道支援の知識面を、秋講座ではスキル面を扱います。その意味では、春、秋の順番で受講頂くのが理想ですが、秋から受講いただくことも可能ですし、春か秋、どちらかのみを受講することも可能です。

● 講座を受ければ、緊急人道支援のすべてを理解したと言って良いか。

緊急人道支援の世界は奥が深く、春と秋の両方の講座を受けても、十分ではありません。各回の講義は、あくまで初歩的な理解を目指しています。そこで学んだことを土台に、講義で紹介された参考文献や資料を読んだり、体験を積んで学びを深めて頂きたいと思います。

● 毎回の講義で、予習や復習は必要か。

受講生の皆さんの多くが仕事をしながら学んでいます。そのため、予習や復習に多くの時間は割けないかもしれません。一方で、限られた講義の時間を有効に生かして頂くためには、事前に扱うトピックについて簡単に調べたりして、講義では積極的に質問をして頂きたいと思います（講師もそれを期待しています）。上記の理由から、講義によっては簡単な事前課題が出る場合もあります。それらの課題をこなすことで、講義の時間での学びが深まります。

● この講座は、主に海外の現場を想定しているのか。

基本的にはそうです。講師はみな海外で多くの経験を積んできた方々です。緊急人道支援には国際基準がつけられ、国際支援の手法や調整の仕組みが発達しており、受講生の皆さんにはこれらを理解頂くと同時に、最新のトレンドにも触れて頂きます。海外の事例が中心になりますが国内の活動でも参考になることが多いため、日本国内で災害対応に当たっている自治体やNPOの職員の皆様にもぜひ応募頂きたいと思っています。

緊急人道支援講座FAQ

● 受講者の選考があると聞いているが、どのような基準で受講生を選んでいるのか。

受講生の選考は総合的な見地から行っています。本講座の趣旨を理解し、将来、この世界で仕事をしていきたいと考えている方を優先しています。残念ながら、定員上限を超えてしまった場合は、選考の結果、受講いただけない場合もあります。

● 修了証（受講証明）はあるのか。

修了証は、所定の回数（10回）以上参加された受講生に無料で発行いたします。修了証は、その後の就職や進学に活かして頂く事を念頭に、受講内容を日本語と英語で記載し、具体的に本講座で何を学んだのかわかる工夫をしております。

● 講座は今後もオンラインで実施するのか。

本講座は、初年度は四ツ谷キャンパスの教室で実施致しました。2020年度はコロナ禍でオンラインに移行しました。当初は臨時的の措置という位置づけでしたが、オンラインになったことで日本全国そして海外からも受講生が集まりました。物理的な移動が必要でなくなったために、仕事をしながら受講し易いという声も受講生から聞いています。オンラインでも講義だけでなく、グループワークなど受講生が主体的に参加する工夫を行っています。今後もオンラインで実施していく予定です。

● 講義を欠席しなければならない場合、録画ビデオを後日視聴することは可能か。

講義は、欠席された方のためにzoomで毎回録画し、受講生限定・期間限定で視聴可としています。機器の動作不良等の理由で録画できなかった場合はご容赦ください。

● オンラインだと講師や他受講生と雑談したりネットワークを作る機会が無いのでは？

確かにオンラインだと、その部分は弱くなるかもしれませんが。本講座では講義の後に講師の方に少し残って頂いて受講生とお話し頂いたりしています。受講生の要望に応える形で、講座終了後にオンライン懇親会を開いたりもしています。受講生と講師の方々とは連絡先を共有しているので、講義の外で連絡を取り合うことも可能です。今後も受講生同士の交流がし易いような工夫をしていきたいと思いますが、受講生皆さん自身で積極的に関係づくりを行って頂ければと思います。